

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

保健体育科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

保健体育科における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(中学校)

1 題材の概要

学 年：第1学年

題 材 名：「バレーボール」(E球技・イネット型) 12時間扱い

題材の目標：(1) バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称、行い方を理解するとともに、ボール操作と定位位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。
(2) バレーボールの攻防などにおける自己課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
(3) バレーボールに積極的に取り組むとともに、作戦などの話合いに参加しようとしたり、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・ ICT端末を活用して撮影動画を共有し、各自の視点に基づいてスロー機能を活用したり、繰り返し視聴するなどしながら、個人やチームの課題を発見することにより、自分の考えを明確にすることができます。
- ・ ICT端末を活用して発見した個人やチームの課題を仲間同士で交流し、よりよい作戦を考えたり、チーム内の個々の役割を明確にしたりすることにより、課題解決に向け自分の考えを深めることができます。

3 使用したソフトや機能

- ・ 動画撮影機能
- ・ 学習支援ソフトのファイル共有機能

【参考資料】

- ・ 体育・保健体育科の指導におけるICTの活用について(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】

保健体育科における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(中学校)

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



【個人思考の場面】



動画の共有

〔撮影したゲームの動画を共有し、各自の視点で見返す〕

- ・ 体育館のステージやギャラリーなど、高い位置から撮影することにより、チーム全員の動きを俯瞰的に把握することができます。
- ・ 撮影した動画を学習支援ソフト等を活用して各自の端末に共有することにより、各自が攻防に対するそれぞれの役割に応じた視点に基づき、個人やチームの課題を発見したり、課題解決の方法を整理したりすることができます。(前時までには、基礎的な知識や技能、攻防におけるチーム内のそれぞれの役割などを明確にしておく必要があります。)

【ICTの活用場面②】



【集団思考の場面】



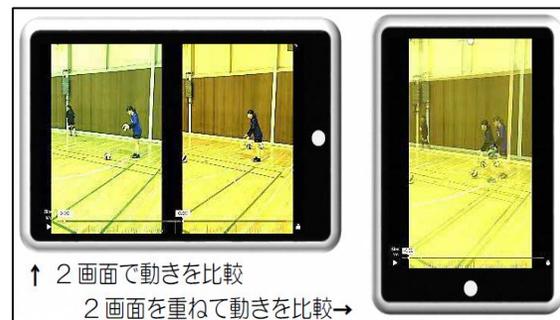
〔各自の視点で見つけた課題や解決方法について交流し、蓄積する〕

- ・ 各自が発見した課題や整理した解決方法を基にチーム内のそれぞれの役割や作戦の改善点について意見を交流することにより、対話的な学びが広がったり深まったりします。
- ・ 撮影した動画や、課題解決に向けて整理し、交流した情報をクラウドの共有フォルダに蓄積し、自己やチームの変容を確認できるようにすることにより、主体的な学びにつなげることができます。

保健体育科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

① 「知識及び技能」の習得の場面

自分が確認したい場面のみを繰り返し視聴したり、手本となる動きと自分の動きを比較し、修正点を確認したりすることにより、運動の行い方などの理解が深まり、技能の習得を図ることができます。



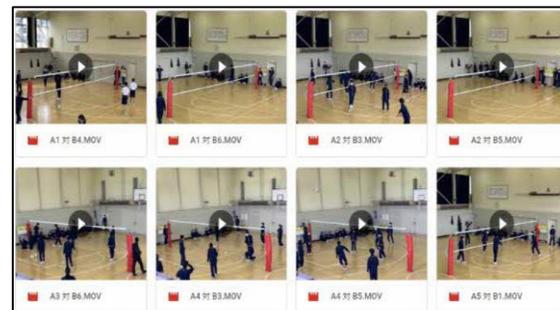
② 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

各自の視点で撮影動画を確認し、自分の考えに基づいて自分や仲間の課題を発見したり、練習方法や作戦の工夫・改善点を整理したりすることにより、自己の考えを深めて対話することができます。



③ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

過去の自分の記録や動き、単元の学習履歴を確認させるなど、自己の変容に気付かせる場面を設定することにより、運動に対する愛好的な態度の涵養につなげることができます。



【参考資料】

・GIGAスクール構想のもとでの中学校保健体育科の指導について（文部科学省）



・StuDX Style
各教科等における1人1台端末の活用
各教科等での活用〔中学校 保健体育〕
（文部科学省）

